

加
538
/

黒川真頼 閱
芳賀真咲 撰

語學初歩

仙台書林 静雲堂發兌



語學初歩

黒川真頼 閱
芳賀真咲 選

第一章 文法ノ性

吾人ノ心ニ思ハル、モノヲ思想ト云ヒ、思想ヲ
語り出ルヲ言語ト云ヒ、言語ヲ書キ著スヲ文章
ト云フ、文章ニハ文法アリ、其ハ言語ノ性格ヨリ
出ズ

第二章 文字

言語ハ、聲音ノ綴ラレタルモノニテ、文字ハ、聲音

第二 五十音ノア行ヲ母韻ト稱シ、其ノ他ヲ子音トス、子音ヲ長ク呼ベバ母韻ニ歸ス、

第三 五十音ノ外ニ撥スル聲アリ、目標ニハ、傍假字ニシテ平假字ニシテ用ヰルナリ、元是ノ聲ハ正シキ聲音ニ非ズ、一ノ行第三音ムノ變音ナリ、故ニ其ノ目標モム。むノ變體ヲ用ヰ、真假字ニハ猶武ヲ代用ス、

五十音中、カ行サ行夕行ハ行ニ、濁音半濁音アリ、是レハ彼ノ四行ノ變音ナリ、目標字ノ肩ニ濁音ハハ、半濁音ハ。ヲ加ヘテ、其ノ識シトス、

第三章 音便

聲音綴ラレテ言語トナル時、連聲ト便ニ因テ、ニ音ヲ一音ニ約シ、一音ヲニ音ニ伸ヘ、或ハキト云フ可キヲイト云フ類アリ、詞ノ下ニ母韻ノ續ク片、全ク消滅スルモアリ、皆音便ト云フ、

第一 二音ヲ一音ニ約スルハ、カクアルノクアラカ、然レバノシカヲサ、オホヨソヲ凡ノ類ナリ、之レヲ反切トモ云フ、

第二 一音ヲニ音ニ伸ブルハ、知ラヌノヌヲナク、曰フノフヲハク、見ムノムヲマク、告ルヲ告グ

ラク、老ルヲ老ラク、ノ類ナリ、之レハ反切ノ反對
ニ因テ伸ラル、ナリ、

第三 キト云フ可キヲイト云フ類ハ、衝キ立テ
ヲ衝イ立テ、琦玉ヲ琦イ玉、等ノ如シ

第四 詞ノ下ニ母韻ノ續キテ消滅スルハ、水ノ
オモヲ水ノモ、雲ノ上ヲ雲ノヘ、益ス荒ヲ男ヲマ
スラヲ、ノ類ナリ

第四章 言語ノ別

言語ハ、體言、副詞、用言、助辭、ノ四ツニ別タル試
ニ、左ノ言語ニ就テ、之レヲ明サン

汝體言ハ曾副詞テ書體言ヲ見用言シ助辭ヤ助辭

第五章 體言

體言トハ、語尾ノ動カ又言ニテ、天地間アラユル
事物ノ名ヲ、言顯ハスモノヲ云フ、體言ニ三個ノ
別アリ、

第一 有形體言、天地、日月、山川、草木、人、鳥、魚、蟲、

等真個ノ物體アルモノヲ呼ブ、

第二 無形體言、年月、日時、春秋、靈夢、心、青、赤、等

真個ノ物體ナケレドモ、胸ノ中ニ物體ヲ畫キ得

ラル、カ、又ハ色ノ如キ、眼ニテ認メ得ルモノヲ呼ブ、

第三 假體言、釣リ、扇ギ、試ミ、教ヘ、恨ミ、ノ如ク、用言ノ語尾居リテ、物體ヲ言ヒ顯ハス言トナレルヲ呼ブ、歌宿ノ如キ、用言ノ語尾省リテ、一ノ體言トナレルモアリ、

第六章 副詞

副詞トハ、體言ト均シク、語尾動カ又言ニテ、嗚呼、取、蓋、抑、殆、豈、必、又、恰、頗、則、忽、寧、愈、な、に、ぞ、れ、志、ば、し、な、ら、ぬ、等、專ラ言語ノ調ヘニ副ハルナリ、

第七章 用言

用言トハ、語尾動ク言ノ總稱ニテ、作用言、形狀言、ノ二種ニ別タル、

作用言トハ、雪降ル、月照ル、花咲ク、人ヲ恨ムル、理ヲ辨フル、ノ降ル照ル咲ク恨ムル辨フルノ類ニ

テ、之ヲ小分シテ九種ト爲ス、

第一 四段活用

能カ 能キ 能ク 能ケノ如ク、其語尾

能カ	押サ	打タ	逢ハ	住下	釣ラ
能キ	シキ	チキ	ヒキ	ミキ	リキ
能ク	スク	ツク	フク	ムク	ル
能ケ	セケ	テケ	ヘケ	メケ	レケ

四段ニ轉ズルヲ云フ、此活用ハ、カ行サ行タ行ハ
 行マ行ラ行ノ、六行ニ限ルナリ、
 第二一段活用 着着ル着レノ如ク、一音ノ語
 尾ニルレノ添ハリテ、轉變ノ用ヲ爲スヲ云フ、此
 活用ハ、カ行ナ
 行ハ行マ行ヤ
 行ワ行ノ、六行
 ニ限ルナリ、

居	射	見	干	似	着
キ	レ	ミ	ヒ	ニ	キ
キ	ル	ミ	ヒ	ニ	キ
ル	ル	ル	ル	ル	ル
キ	レ	ミ	ヒ	ニ	キ
ル	レ	レ	レ	レ	レ

第三 中二段活用 起キ起ク起クル起クレノ
 如ク、イ緯ウ緯ノ、二段ニ轉ジ、ウ緯ニ轉ジタル語
 尾ニルレノ添ハリテ、更ニ轉變ノ用ヲ爲スヲ云
 フ、此活用ハ、カ
 行タ行ハ行マ
 行ヤ行ラ行ノ、
 六行ニ限ルナ
 リ、

下	老	恨	戀	落	起
リ	レ	ミ	ヒ	チ	キ
ク	ユ	ム	フ	ツ	ク
ク	ル	ル	ル	ル	ル
ク	レ	レ	レ	レ	レ

第四 下二段活用

受ケ受ク受クル受クレノ

如ク、工緯ウ緯ノ二段ニ轉ジ、ウ緯ニ轉ジタル語

尾ニ、ルレノ添

ハリテ、更ニ轉

變ノ用ヲ爲ス

ヲ云フ、此活用

ハ、ア行ヨリワ

行ニ至ル十行

共ニ有リ、

植	枯	消	譽	添	寐	捨	瘦	受	得
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ
于	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
于	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
于	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ

第五 加行變格活用 来^カ来^キ来^ク来^ケ来^{クル}来^{クレ}如ク、才

緯^イ緯^ウ緯^ノ三段ニ轉ジウ緯ニ轉ジタル語尾

ニルレノ添ハリテ更ニ轉變ノ用ヲ爲スヲ云フ、

此活用ハ唯此ノ一例アルノミ、故ニ變格ト云フ、

第六 佐行變格活用 爲^キ爲^ク爲^{クル}爲^{クレ}ノ如ク、

工緯^イ緯^ウ緯^ノ三段ニ轉ジ、ウ緯ニ轉ジタル語

尾ニ、ルレノ添ハリテ、更ニ轉變ノ用ヲ爲スヲ云

フ、此活用モ、亦唯此ノ一例アルノミ、

第七 奈行變格活用 往^キ往^ク往^{クル}往^{クレ}ノ如ク、

ア緯^イ緯^ウ緯^ノ三段ニ轉ジ、ウ緯ニ轉ジタル語

尾ニルレノ添ハリテ更ニ轉變ノ用ヲ為スヲ云フ、此ノ活用モ亦唯此ノ一例アルノミ、

加行變格活用	未	コ
佐行變格活用	爲	セ
奈行變格活用	往	ナ
	ニ	レ
	キ	
	ク	ス
	ル	スル
	レ	スレ

第八 良行四段一格 居ラ居リ居ル居レノ如ク、語尾四段ニ轉ズ、故ニ四段活用ノ降ラ降リ降ル降レノ格ト同ジ、然レテ言語ノ切ル、時、一方ハ降ルト云ヒ、一方ハ居リト云フノ差アリ、故ニ通例ノ四段活用ヨリ取除カレシナリ、

有	居
ラ	
リ	
ル	
レ	

第九 音讀用言

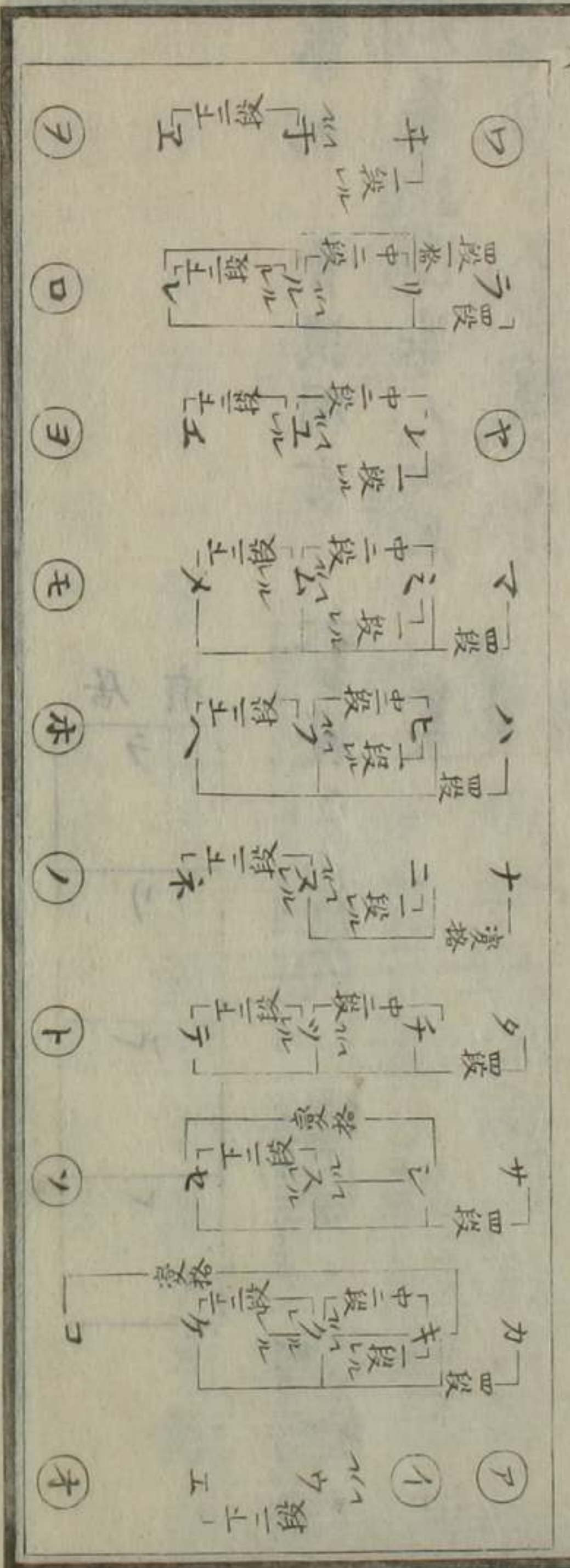
奮發スレ等ノ如ク、活用言ヲ音讀ニスル時、佐行變格セシススルスレノ補助ヲ得テ、轉變ノ用ヲ為スモノヲ云フ、

奮發セ 奮發シ 奮發ス 奮發ス

奮發	奮發	奮發	奮發
通報	區別	接伴	競争
奉	同	属	開
裁			
(セ)	(レ)	(ス)	(スル)
(スレ)			

第八章 用言轉變ノ例

作用言ヲ、四段、一段、中二段、下二段、ト唱フルハ、五音圖ニ就キ、語尾轉變ノ數ニ因テ、名付ケラレ、而シテ、他ノ言語ニ轉變ノ類例ナキラ、變格又一格トハ云シナリ、



第九章 五階ノ格及時

作用言ニハ、將然言、連用言、終止言、連體言、已然言、ノ格アリ、過去、現在、未來、ノ時アリ、

第一 將然言トハ、動作ノ將ニ成ラントシテ、未成ラサル格ヲ云フ、其ノ時ハ未來ナリ、

第二 連用言トハ、動作ノ絶エズシテ、連続スル格ヲ云フ、其ノ時ハ過去ナレド、助辭ノ結合ニ因テ、現在トモナル、

第三 終止言トハ、動作ノ連續セスシテ、切ル、格ヲ云フ、其ノ時ハ現在ナリ、

第四 連體言トハ、用言ヨリ、直ニ體言ニ連續スル格ヲ云フ、其ノ時ハ現在ナリ、

第五 已然言トハ、動作ノ已ニ終ル格ヲ云フ、其時ハ過去ナリ、

此ノ五個ノ格ハ、活用言ノ種類ニヨリテ、各異ナリ、カ行ノ轉變ニ就キ、其一例ヲ擧ク、四段活用、ア

緯ノ飽カ、變格活用、才緯ノ来ハ、將然言ニテ、イ緯ニ轉ジタル、飽キ来ハ、連用言トナルヲ、中二段活

用、一段活用、イ緯ノ起キ着、下二段活用、エ緯ノ受ケハ、將然言ト連用言トヲ兼ネタリ、而シテ各各

飽ク起ク受ク来等、ウ緯ニ轉ジテ、終止言トナルヲ、特リ一段活用ノ着ルノミハ、ウ緯ノル添ハリ

テ終止言トナル、又四段活用、變格活用、一段活用ハ、終止言ノ格ニテ、連體言ヲ兼ネ、其ノ他ハ起ク

ル受クル等、ウ緯ノル添ハリテ、連體言トナル、而シテ又、四段活用ハ、エ緯ノ飽ケニ轉ジ、其ノ他ハ、

着レ起クレ受クレ来レ等、前ニ添ハリタル、ルエ緯ノレニ轉ジ、共ニ已然言トナル、五十音圖ノ各

行皆此クノ如シ、

用 作

二下	用活段二中	用活段一	用活段四	未將然
多佐加阿良也麻波多加和也麻波奈加良麻波多佐加	行行行行行行行行行行行行行行行行行行	行行行行行行行行行行行行行行行行行行	行行行行行行行行行行行行行行行行行行	第
捨瘦受得下老恨戀落起居射見干似着降性逢立押咲				一
テセケエリレミヒチキキレミヒニキラマハタツカ				階
.....			リミヒチシキ	未言階
.....				過連第
ツスタウルユムフツク	ルルルルルルル	ルユムフツク	ルムフツスタ	去用二
.....				現在言階
ツスタウルユムフツク	ルルルルルルル	ルユムフツク		現終第
.....				止三
ツスタウルユムフツク	ルルルルルルル	ルユムフツク	レメヘテセケ	在言階
.....				現連第
ツスタウルユムフツク	ルルルルルルル	ルユムフツク		在言階
.....				體四
.....				在言階
.....				過已第
.....				然五
.....				去言階

言

言 用 讀 音	一 格 用 活 段	良 行 四 段	用 活 格 寢	用 活 段
裁關屬同奉覽接區通奮殺	有 居 往 爲 未 植 枯 消 譽 添 寢	奈 佐 加 和 良 也 麻 波 奈	行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行	行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行
爲	ラ ナセコ エレエメヘネ			
セ				
シ	リ ニシキ			
ス	ヌスクウ	ルユムフヌ	
スル	ル	ヌスクウ	ルユムフヌ	ルルルルルル
スレ	レ	ヌスクウ	ルユムフヌ	レレレレレレレレ

第十章 形状言

形状言トハ、吾人ノ思想及事物ノ分量等ヲ、形容スルニ用キラル、善キ人、秋ゾ悲シキ、月影清シ、久シク住ム、長長シ夜ノ善キ悲シキ清シ久シク長長シノ如シ、此ヲ小分シテ二種ト爲ス、

第一 クシキ活用 浅ク浅シ浅キ静ケク静ケ

シ静ケキノ如ク、クシキニ轉ズルヲ云フ、

第二 シクシシキ活用 嬉シク嬉シ嬉シキ長

長シク長長シ長長シキノ如ク、シクシシキニ轉ズルヲ云フ、

クシキ活用シク

シシキ活用ハ、連

用言、終止言、連體

言、ノ格ヲ有ツ、

形		狀		言	
ク	シ	ク	シ	ク	シ
活	キ	活	キ	活	キ
用	用	用	用	用	用
淺	静	嬉	明	遠	長
ク	ク	ク	ク	ク	ク
シ	シ	シ	シ	シ	シ
キ	キ	キ	キ	キ	キ
連用言	終止言	連體言			

第十一章 助辭

助辭トハ、携テ行ク、花ニ啼ク、空ヲ飛ブ、日ハ暮ルル、ノテニヲハノ如ク、言語ヲ貫キ續ケ、或ハ言語

ヲ助ケテ、動作ヲ完カラシムル等ノ用ヲ爲ス、故
ニ體言ヲ受クルアリ、用言ヲ受クルアリ、前後ノ
語勢ニ由リテハ、體言ヲ受クル助辭ニテ、用言ヲ
受クルモアリ、用言ヲ受クル助辭ニテ、體言ヲ受
クルモアリ、一個ノ助辭ニテ、意足ラザル片ハ、二
個以上ノ助辭重ナリ續クモアリ、且助辭ニハ、係
結アリ、雪ハ降リツ、春ハ来ニケリ、雨ヅ降リケ
ル、人ニヨツヨレ、花ヤ散ルラン、何ヅ妨ゲン、等ノ
如シ、

第十二章 體言副詞ヲ受クル助辭

ニヘヲノモトハヤカゾコソナムナモ
ヨラシナダニサヘノミバカリスラマデ
ヨリユエガテラマニマニナガ
ラ等ナリ、
ニヘヲ事物ニ對ヒテ云フ片、月ニ照サル、花ニ
遊ブ、事物ヲ引取テ云フ片、月ヲ見ル、花ヲ折ル、ノ
類ニテ、俚言異リナシ、但シヲハ、心ヒトツヲ、知ラ
又我が身ヲ、ノ如ク綴ラレタル片ハ、事物ヲ咎ム
ル意ヲ言ヒ顯ハスナリ、之ヲ俚言ニ譯スレハ、心
ヒトツヂヤノニ知ラヌ我身ヂヤノニト云フニ

同シ、又ニトヘト殆ンド同ジク用平ラル、片、ハ
ハ廣ク、ニハ狭シ、東マノ方ヘ行キケリ、八橋ト云
フ處ニ至レリ、ノ類ナリ、俚言異リナシ、
ノ 言語ヲ接續スルニ用平ラル、春ノ日、秋ノ夕
ベ、等俚言異リナシ、

モト 二個以上ノ事物併ビタル片ニ用平ラル、
月モ清ク花モ美ハシ、月ト共ニ夜ハ更ケ行ク、ノ
類ナリ、若シ、月モ清シ、月ト更ケ行ク、杯一個ノミ
言ヒ顯シタル片ハ、他ノ一個ハ、必言外ニ含マル、
又時トシテハ、ノ如ク接續ニノミ用平ラル、

モアリ、俚言皆異リナシ、

ハ 事物ヲ取出シ云フ片ニ用平ラル、月ハ清シ、
花ハ美ハシ、ノ類ニテ、月花ヲ取出シ、清シ、美ハシ、
ト理リ附ルナリ、若シ月ノ清キハ、花ノ美ハシキ
ハ、ト云ヒシ片ハ、清キ美ハシキヲ取出セシガ故
ニ、別ニ理ハリ附クル言語無カル可ラズ、又此レ
助辭ニ係結アル所以ナリ、
ヤカ 事物ノ動作ヲ疑フ片用平ラル、人ヤ問フ
ラン、雲ヤ鎖セル、夫カ有ラヌカ、見シハ邪目カ、ノ
類ニテ、之レヲ俚言ニ譯スレバ、人が問フデアラ

ウカ、雲ガ鎖セルカ、然ウカ、然ウテナイカ、見夕ハ邪目デアルカ、ト云フニ同ジ、而シテ疑ヒタル語勢言ヒ係ルガ故ニ、結ヒ詞無カル可ラザルハ、ハノ部ニ説ケルガ如シ、但シ邪目カノ如キ、言語ノ最尾ニ用テラレタルハ、邪目カヨモヤ邪目デアアルマイ、ト云フ程ノ余意ヲ含メリ、故ニ結詞ハ言外ニアルナリ、此例ヤニモ多シ、又此ノヤカニ、ハ重ナリ、ヤハカハトナレバ、意迫リテ、反動ヲ顯ハス助辭トナル、淵ヤハ騷グ、人ハ人カハノ類ニテ、但言淵ハ騷グカイ騷ギハセ又、人ハ人

カイ人テナシヂヤ、ト云フ意トナル、係結前ニ同ジ、又ヤハ、或ル景色ヲ眺メヤル如キ場合ニハ、疑ナラヌモアリ、松島ヤ小島ノ蚤、菅原ヤ伏見ノ里ノ類ナリ、ゾコソナムナモ、ゾハ、是レゾ、此處ゾ、ト手ニ取リタル意、コソハ、外ノ事物ハ知ラズ、是レコソ、此處コソ、ト手ニ取リシモノヲ、更ニ取出シテ示ス程ノ差アリ、露ゾ結ベル露コソ結ベ、ノ類ニテ、但言露ガ何カ知ラズ結ビテアル、外ノ事物ハ知ラズ是レ此ノ通り露ハ結ビテアレ、ト云ニ同ジ、ナ

ムナモハヅト均シク、且係結ハ前ニ説ケルガ如
 シ、ヨ 事物ヲ呼出スニ用ヅラル、君ヨ、鶯ヨ、ヤヨヤ、
 ノ類ニテ、俚言異リナシ、
 ラ 汝ラ、我ラ、ノ如ク、俚言汝力輩、我が輩、ト云ニ
 同シ、
 シ 句調ヲ補フ爲メニ添ハル、時シモアレ、今シ
 ハ、人シ知ラズバ、ノ類ニテ、俚言 時サヘモアレ、
 今ト成テハ、人サヘ知ラズニ有リタナラバ、ト
 云フニ同ジク、其場合ニヨリテ、多少ノ差アリ、又

人シト係リ、知ラズバ、ト結バル、此ノ助辭ノ通
 例ニテ、時シモアレ、今シハノ如キハ、變例ナリ、
 ナ 事物ニ對ヒテ、禁止スルニ用ヅラル、人ヲ咎
 メツ、花ヲ折ソネ、ノ類ニテ、俚言、人ヲ咎ムル
 勿レ、花ヲ折ル、ト云フニ同ジ、此ノ十即
 勿レト云フ意ヲ含メルナリ、而シテナト係レバ、
 ソ又ハソネト結ブ例ナリ、
 タニサヘ 翁ダニ覺ラヌ、鹿ダニ通ハヌ、童サヘ
 知レルヲ、日サヘ暮ヌル、等ノ如シ、俚言、翁テモ覺
 ラヌ、鹿テモ通ハヌ、童マデ知リテ居ルノニ、

日マデ暮テシマウタト云フニ同ジ此二個ノ
助辭似寄リテ反對ノ意ヲ顯ス

ノミバカリ音ノミ鳴ク獨ノミ見ル何バカリ
聲バカリノ類ニテ俚言音バツカリ鳴ク獨

バツカリ見ルイカホド聲バツカリト云フ
ニ同ジ

スラ都スラ君スラモノ類ニテ俚言都デサ
ヘ君デサヘモト云フニ同ジ

マデヨリ山際ヨリ海邊マデ元弘ヨリ嘉
永マデノ類ニテ俚言ニハヨリヲカラト云フ其

ノ他異リナシ
エエ子エエニ物ヲ思フ等俚言同ジ

カテラ花見ガテラ等ノ類ニテ俚言花見カ
タトト云ニ同ジ

ママニマニ垣根ノマ、仰セノマ、有ノマニ
マニ神ノマニマニノ類ニテ俚言垣根ノナリ

ミダイ仰セミダイ有リシダイ神ミダイ
ト云ニ同ジ

ナガラ昔ナガラ神ナガラノ類ニテ俚言昔
其ノマ、神其ノマ、ト云ニ同ジ

第十三章 作用言ヲ受クル助辭

受クル助辭モ作用言ノ五個ノ格ニ隨ヒテ別タル

第一階將然言ヲ受クル助辭

バナム

ズ又ハ、未來ヲ差シ定ムル助辭ニテ、不ト同種ナ

リ、咲カズ、着ヌ、起キズ、譽メヌ、ノ類ニテ、俚言異リ

ナシ、ジテハ、均シクズヨリ轉ジタル助辭ナレバ、

意異レリ、ジハ、買ハジ、盡キジ、ノ類ニテ俚言、

買ウマイ、盡キマイ、ト云フニ同ジク、デハ、思ハ

テ、消エテ、ノ類ニテ、俚言、思ハイテ、消エイテ、ト

言フニ同ジ、

シハ、豫ジメ未來ノ動作ヲ、推量リテ定ムル助辭

ナリ、縫ハン、往ナン、ノ類ニテ、俚言、縫ハウ、往ナウ、

ト云ニ同ジ、

マシハ、欲リスルノ意ヲ含メル助辭ナリ、行カマ

シ、植エマシ、ノ類ニテ、俚言、行カウモノ、植エ

ウモノ、ト云ニ同ジ、

バハ、未來ノ事業ヲ、試ミニ定ムル助辭ナリ、然ラ

バ、植エバ、ノ類ニテ、俚言、然フナラバ、植エウ

ナラバト云フニ同じ、

ナムハ、事物ニ對シテ、請ヒ願フ助辭ナリ、思ハ

ナン、讀マナンノ類ニテ、俚言、思フテクレヨ、

讀ンテクレヨト云フニ同じ、

第二階連用言ヲ受クル助辭 テツテンキシケ

リケンツルナバナムヌル

テハ、前段ノ動作ヲ過去リテ、更ニ後段ノ動作ヲ

言ヒ發ス助辭ナリ、往キテ見ル、隨テ行クノ類ニ

テ、俚言異リナシ、ツハ、テノ立チタル助辭ニテ、此

結合ニヨリテ、過去ノ動作現在ニ言ヒ爲サル、

ナリ、曉ケツ来ツノ類ニテ、俚言、曉ケル、来ル、ト云

フニ同じ、又ツ、ト重ナレルハ、降りツ、見エツ

ツノ類ニテ、俚言、降りテカラニ、見エテカラ

ニ、ト云ニ同じ、

テンハ、ント云フニ均シクシテ、慥カナル意添へ

リ、求メテン、摘ミテンノ類ニテ、求メン、摘マン、ト

云へバ、俚言求メウ、摘マウ、ト云フニ同じケレ

ド、求メテン、摘ミテン、ト云へバ、求メテオカウ、

摘ミテ来ヤウ、トナルノ類ニテ、置来、ヲ添テ見ザ

レハ、意満足セザルが如シ、

キシハ、過去ヲ確定スル助辭ナリ、キハ、有リキ、試
ミキ、シハ、過キシ、来シ、ノ類ニテ、俚言、有リタ、試
タ、過キタ、来タト、云フニ同ジ、
ケリハ、動作ノ過去リシモノヲ、打脈メテ居ル如
キ、意ヲ含メル助辭ナリ、増シケリ、落チケリ、ノ
類ニテ、俚言、増シタハイ、落チタハイ、ト云フ
ニ同ジ、而シテ、ケル、ケレトモ轉ズルナリ、
ケンハ、怪シミ疑フ助辭ナリ、往キケン、散リケン、
ノ類ニテ、俚言、往タカシラン、散リタカシラ
ン、ト云フニ同ジ、

ツルハ、テノ立タルツニルノ添ハリタル助辭ナ
レバ、ツト同ジク、現在ニ言ヒ爲サル、ナリ、有リ
ツル、見ツル、ノ類ニテ、俚言、有ル、見ルト云フニ同
シ、而シテ、ツレトモ轉ズルナリ、
ナバハ、バト同ジ意ヲ有テリ、起キナバ、寐ナバ、ノ
類ニテ、俚言、起キタナラバ、寐タナラバ、ト云
フニ同ジ、
ナムハ、疑ヲ含ミテ、過去ニ属スル助辭ナリ、散リ
ナン、植エナン、ノ類ニテ、俚言、散リテシマハウ、
植エテシマハウ、ト云フニ同ジ、

又ルハ十分ノ過去ヲ示ス助辭ナリ、飽キヌル、枯
レヌル、ノ類ニテ、俚言、飽キテシマウタ、枯レ
テシマウタト云フニ同ジ、而シテヌレトモ轉ズ
ルナリ、

第三階終止言ヲ受クル助辭

メリランベキラ

シマジキト

メリハ、眼ノ前ニ有ル、事物ノ動作ヲ疑フ片用ナ
ラル、流ルメリ、言フメリ、ノ類ニテ、俚言、流レル
ヤウスジヤ、言フ趣キジヤト云フニ同ジ、而シ
テ、メルメレトモ轉ズルナリ、

ランハ、事物ノ動作ヲ想像スル片用ナラル、似ル
ラン、滿ツラン、ノ類ニテ、俚言、似ルデアロウ、
滿チルデアロウト云フニ同ジ、
ベキハ、事物ノ動作ヲ判断スル片用ナラル、通フ
ベキ、晴ルベキ、ノ類ニテ、俚言、通フハヅヂヤ、
晴レルハヅヂヤト云フニ同ジ、而シテ、ベクベシベ
ラベミトモ轉ズルナリ、
ラシハ、眼ニ見エヌ、事物ノ動作ヲ確カニ然カア
ラント、察シタル片用ナラル、降ルラシ、積モルラ
シ、ノ類ニテ、俚言、降ルサフナ、積モルサフナ、

ト云フニ同じ、
マジキハ、可シノ反對、可カラズノ意ニ用キラル、
堪フマジキ、惜シカルマジキ、ノ類ニテ、俚言、堪
ヘルハヅテナイ、惜シカルハヅテナイト云フ
ニ同じ、

トハ、體言ヲ受クルトノ部ニ同じ、但シトイフト
續クハ、母韻ノイ消エテ、トフトナル、有リキトフ、
縫フトフ、杯言ハル、ガ如シ、此ノトフト轉シテ、
フテフトモ云フ、今ハ多クテフヲ用キルナリ、即
有リキテフ、縫フトフ、ノ類ニテ、俚言、有ツタト

ノフ 縫フトイフト云フニ同じ

第四階連體言ヲ受クル助辭 ヤカカモカナニ

ヲマデヨリモ

ヤカハ、體言ヲ受クルヤカニ同じク疑ノ助辭ナ

リ、思フヤ、老ユルヤ、捨ルカ、消ルカ、ノ類ニテ、俚言、

ヤモカト云フニ同じ、

カモカナハ、事物ノ動作ヲ感歎スル片用キラル

落ルカモ、消ユルカモ、惑フカナ、瘦スルカナ、ノ類

ニテ、俚言、落ツルカマア、消ユルカマア、惑

フタヘカナア、瘦セタヘカナア、ト云フニ同じ、

カナハ、素トカモヨリ、轉ジ来レル助辭ニテ、古ヘハ多クカモヲ用キ、今世ハ多クカナヲ用キルナリ、ニヲマデヨリモハ、體言ヲ受クルニヲマデヨリモニ同ジ、

第五階已然言ヲ受クル助辭 バドドモ

バハ、過去リシ動作ヲ理リ附クル助辭ナリ、笑ヘバ、捨ツレバ、ノ類ニテ、俚言、笑フタニヨツテ、捨テタニヨツテ、ト云フニ同ジ、
ドドモハ、過去リシ動作ヲ更ニ言ヒ解クハ用キ

ラル、食ヘド見レド、食ヘドモ見レドモ、ノ類ニテ、雖ノ意ニ當レリ、俚言 食フトイヘドモ、見ルトイヘドモ、ト云フニ同ジ、

第十四章 形状言ヲ受クル助辭

受クル助辭モ形状言ノ三個ノ格ニ隨ヒテ別タル

第一階連用言ヲ受クル助辭 テハ

テハ、浅クテ、靜ケクテ、ノ類
バハ、深クバ、悲シクバ、ノ類

第二階終止言ヲ受クル助辭 トモ

トハ明ケシト、長長シト、ノ類
モハ寒シモ、淋シモ、ノ類

第三階連體言ヲ受クル助辭

ニヲ
ヤカカモ

カナマデヨリ

ニヲハ、清キニ、惡シキヲ、ノ類

ヤカハ、強キヤ、苦シキヤ、尊キカ、貧シキカ、ノ類

カモカナハ、善キカモ、嬉シキカナ、ノ類

マデヨリハ、憎キマデ、遠遠シキヨリ、ノ類

以上形狀言ヲ受クル助辭モ、其性格俚言ハ、體言
又ハ作用言ヲ受クルモノト異リナシ、

第十五章 重リ續ク助辭

一個ノ助辭ニテ、意足ラサルハ、二個以上ノ助辭

重リ續クハ、又ヲシヲジヲヲモダニモマシカバ

ズモガナニモガモナ、等類多シ、今簡單ナル語ニ

就キ、其ノ例ヲ擧ゲン、見ヌヲノヌハ、將然言ノ見

ヲ受ケ、尚ヲノ助辭重リ續キ、咲キシヲノシハ、連

用言ノ咲キヲ受ケ、尚ヲノ助辭重リ續キタルモ

ノニテ、又ヲ俚言ヌノニシヲ俚言タノニト云ニ

同シ、其他ジヲ俚言マイノニヲモ俚言ヲマアダ

ニモ俚言デモマアマシカバ俚言 ウモノニシ

テミタラバズモガナニ俚言ナラヨカロウニ
ニモガモナ俚言ニモ有タラヨカロウ等種種アリ、
推シ通ハシテ知ルベシ、

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 重、意、及、有、二、四、八、十、等、）

語學初歩終

